

2015年度 「中国 大連・東北部通信」

2015年12月1日

駐大連北九州市経済事務所

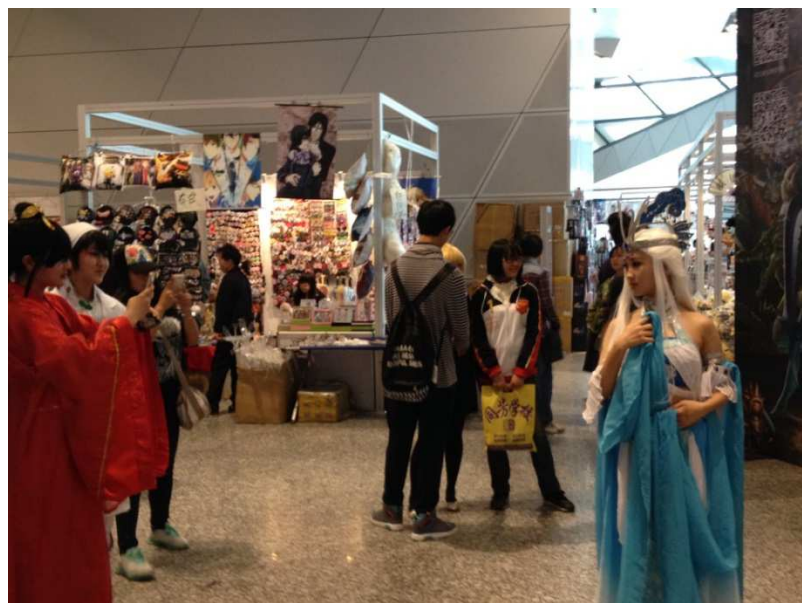
◆所長 田代 昇三 ◆副所長 益野 裕至

◆副所長 呂 俐

田代 E-mail: yumeiyasu4411@yahoo.co.jp

## 熱気に包まれたコスプレショーIN 大連

先日、大連にてゲーマーやアニメファンら多数の来場者が集い、ACG文化（Animation,Comic,Game）の熱気に包まれていました。





此处、大連でも日本のアニメの人気は根強く、アニメに関心を寄せて日本語を学び始める学生も少なくありません。コスプレをしている彼女達は、自慢げに写真に映り、写真を撮る我々の方が照れくさくなります。(笑)

アニメといった日本文化を通して、日中関係の改善につながることを切に願っております。

## 日本商品大連地区巡回展、『MA-TSU-RI 2015 』 開催

先日、大連市内のオリンピック広場にて日本商品大連地区巡回展が開催されました。本巡回展は大連市人民対外友好協会と大連西崗区人民政府の主催で開催され、約 50 の日系企業、飲食店、団体等が参加しました。



開幕式の様子

この日本商品大連地区巡回展は今年が第 1 回目の開催であり、日本商品の展示・販売を通して、日系企業にとっては「大連での販売先開拓及び自社商品の認知度向上を促進する目的」、中国企業にとっては「中国で販売する日本商品の調査を行なう目的」があります。

実際に本巡回展ではナイフ等の地域の伝統工芸品、シャンプー・化粧品等の日用品、健康食品・お菓子・日本酒等の食料品など様々な種類のものが販売されており、例えば日本では 130 円程度のスナック菓子であれば 1 袋 18 元(約 360 円)、700 円程度の美容マスクは 98 元(約 1,960 円)、500 円程度のアイマスクは 48 元(約 960 円)など、日本での販売価格の 2~3 倍程度の価格で販売されておりました。



九州商品のブース



会場の様子

本巡回展終了後、出店した企業の方々に感想を聞くと、「出店した目的は販路先開拓などであり、いわゆる B to B を期待していたが、実際に購入に来場する顧客は一般の個人消費者であり、実態は B to C であった。」との声が多く聞かれ、日系企業が期待していた結果とは少し違うものとなったような印象を受けました。

#### ◆日本文化体験も併催

このイベントは中国の方々にも様々な日本の文化を実際に体験してもらうことで、日本の文化に対する理解を深めてもらう目的で開催されております。

昨年までは大連市内の中学校を会場としておりましたが、今年は会場をオリンピック広場に移し、さらに巡回展との同時開催にしたことで、昨年の約 8 倍の 2 万 9 千人の人々が来場しました。



囲碁をする子供たち



浴衣美人コンテストの様子

会場では大連にある日本料理屋が出店した屋台をはじめ、金魚すくい・射的などの縁日ブース、浴衣美人コンテスト、ソーラン節、盆踊りなど日本の夏祭りさながらの様々な催しが行われ、大盛況に終わりました。

昨年後半以降、政治面では徐々に日中関係改善の兆しを感じられますが、中国国内を出張や旅行で訪れた際、日本人の旅行者はまだまだ少ないと感じます。このようなイベントを通して日本人と中国人の一般市民が交流することで、政治・経済に限らず文化面においても日本と中国の交流が更に深まることを期待しています。